

## 市場と連携した「食」をテーマとするイベントの開催に向けたサウンディング型市場調査 実施結果

### <結果概要>

#### 1 対話期間

令和3年7月27日から令和3年8月6日

#### 2 参加事業者数

19 法人又は法人のグループ

- ・「パートナー事業者」としての参画に関心のある事業者：13 法人又は法人のグループ
- ・運営の間接的な支援・貢献に関心のある事業者：6 法人又は法人のグループ

#### 3 対話方法

全て直接対話方式により実施

#### 4 提案・意見の概要

##### (1) 「『パートナー事業者』としての参画に関心のある事業者」向け

###### ア 活用予定用地でのイベント企画

###### (ア) ターゲット（想定する顧客層）

- ・ 市内を中心としたファミリー層や県内を含む近隣地域の居住者を中心とした顧客層が想定されると認識されていました。
- ・ 海沿いの立地環境や周辺エリアとの関係性から、国内観光客やインバウンド客も対象にできる可能性があるとして認識されていました。

###### (イ) イベントのコンセプト及び具体的なコンテンツ（例：BBQ、マルシェ等）

- ・ 多くの事業者から「マルシェ」や「キッチンカー」、「BBQ」等、複数のコンテンツを組み合わせた「食」をテーマとするイベントの実施提案がありました。
- ・ この他、音楽やスポーツ、地元企業と連携したイベント、体験イベントに関する提案もありました。

###### (ウ) 「市場との連携」の具体的な方法

- ・ 横浜市中央卸売市場から食材を仕入れ、マルシェやキッチンカー、BBQ等の目玉商品とすることが、多くの事業者から提案されました。
- ・ また、場内事業者による出店、場内事業者を講師とした体験型イベント（捌き方教室・料理教室等）の実施、市場食材を用いたメニューの開発・販売などについて連携・協働することも提案されました。
- ・ これらの取組みにより、市場及びイベントの認知度の向上、情報発信の充実を進め、長期的な市場との連携が望ましいと認識されていました。

###### (エ) 希望する開催期間及び頻度

- ・ 多くの事業者が週末（土日又は金土日）の開催を希望されていました。
- ・ また、収益モデルの確立には定期的なイベントの開催による認知度・集客力の向上が不可欠であり、1か月に1回以上の開催や3～4か月に1回程度の開催が必要であると認識されていました。
- ・ 一方、大型連休や夏休みなど集客が見込める期間の連続日における開催や、春～秋など気候が安定している期間の長期的な開催を望む事業者も見受けられました。

#### (オ) 必要なインフラ及び調達方法

- ・ インフラについて、「上水道（給水）」「下水道（排水）」「トイレ」の3点は、調理や飲食を伴う「食」イベントにおける営業許可の取得や安全性の確保の観点から、常設での整備が必要であるとの見解が示されました。
- ・ 「電気」は、整備を求める意見があるものの、一方で、主催者や出店者が発電機や電源車を調達することで対応可能であるとの見解も示されています。
- ・ イベントの規模や開催時期によるものの、多くの集客を見込む場合には「駐車場」の確保や「資材・機材置場」が必要であり、当該用地の一部を活用するほか、横浜市中心卸売市場の駐車場の一部を使用する提案も見受けられました。
- ・ この他、屋外でのイベントとなるため、交通安全対策や来場者の案内、警備員の配置等も必要な機能として考慮する必要があるとの見解が示されました。

#### (カ) 各種規制（食品衛生法・消防法等）における対応方法

- ・ 食品衛生法への対応について、許可条件や指導内容において横浜市と十分な調整が必要であるとの見解が示されました。
- ・ これらの課題に対して、調理可能な届出のある車両や調理機能を備えた車両の活用、トレーラーの活用により対応することも可能であるとの見解も示されました。
- ・ 消防法も同様に、必要に応じて主催者が事前に計画を届け出ることにより対応する想定であることが示されました。
- ・ この他、周辺地域の住環境等も踏まえ、騒音や油煙等についても何らかの対策が必要であることが示されました。

#### (キ) 立地及び交通アクセスを踏まえた集客方法

- ・ 当該用地の交通利便性に課題があることが、多くの事業者から共通の見解として示されました。
- ・ こうした環境のもと、集客を促すため、公共交通手段（市営バス）の増便やイベント開催時のシャトルバスの運行、海側からのアクセス（水上交通）について検討が必要であるとの見解が示されました。

#### (ク) 広報プロモーションの方法

- ・ イベント用地としての認知度に課題があり、広報プロモーションが必要であることが、多くの事業者から共通の見解として示されました。
- ・ 具体的には、折込チラシやWEBの活用、交通広告、市の広報紙等、様々な媒体を活用し

た情報発信が必要との見解が示されました。

- ・ また、市場一般開放や市場まつり等、既存の市場イベントとの連携のほか、音楽やスポーツ等集客力のあるコンテンツとの抱き合わせのイベント企画により、安定的な集客に繋がっていくことが有効であるとの見解も示されました。

#### (ケ) 収支見込み（収入／支出は何にどの程度想定されるか）

- ・ 収入について、多くの事業者は、出店者からの「出店料」や売上に対する「固定又は歩合収入」等が主な事業収入となっており、他に「協賛金」収入を見込む必要があるとする事業者も見受けられました。
- ・ また、来場者からの「入場料」は大規模イベントでなければ導入が難しく、想定する事業者は限定されました。
- ・ 支出について、広告制作等の「広告・集客関連費」、テントやトレーラー等の「会場設営費」、警備や運営に係る「人件費」等が、主な支出項目となっていました。
- ・ 「土地使用料」については、会場としての立地環境や、イベント開催実績や認知度を踏まえ、負担軽減を希望される事業者も見受けられました。

#### イ 課題・行政への要望

- ・ 当該用地におけるイベント開催に向けて、「インフラ整備」「広報・集客」「土地使用料」「資機材・備品の調達」が多く事業者から課題として示されました。
- ・ 特に、インフラ整備については、「上水道（給水）」「下水道（排水）」「トイレ」の3点を市が準備することを希望されています。
- ・ インフラ以外では、広報・集客が大きな検討課題とされ、折込チラシやWEBの活用、交通広告や市の広報紙等、多様な媒体による情報発信や、シャトルバス（や駐車場確保）等によるアクセス改善が必要との見解が示されました。

#### ウ その他の提案

- ・ 今回は、用地の暫定利用を前提とした期間限定のイベントに関するサウンディングに限定していたものの、イベントによる賑わいを確実に進めるためには、用地の暫定使用によるイベントに限らず、民間資本による中長期的な土地利用や開発を行うほうが、事業目的の確実な達成が図れるとの意見・提案もありました。

### (2) 「運営の間接的な支援・貢献に関心のある事業者」向け

#### ア 活用予定用地でのイベント運営の支援・貢献内容

##### (ア) 具体的な支援・貢献内容

- ・ 「上水道（給水）」「下水道（排水）」において、排水の浄水・循環利用が可能な設備についての情報提供がありました。
- ・ 「トイレ」において、おが屑で排泄物を自然分解できるバイオトイレについての情報提供がありました。
- ・ 「電気」において、水素自動車による電気供給についての情報提供がありました。
- ・ この他、上記のようなSDGsにもつながる技術や製品・サービスを活用し、「SDGs」と「市

場」をコンセプトの核として据えた「食」イベントの企画によって、集客力の向上や協賛企業の参画が見込まれるとの提案もありました。

(イ) 支援・貢献にかかる費用の見込み

- ・ イベントにおいて支援・貢献事業者の事業内容の宣伝・広報の機会を設けることで、支援・貢献策の無償提供が可能であるとの提案が示されました。
- ・ この他、支援・貢献にかかる費用は個別に調整が必要であるとの見解も示されました。

(3) 実証実験としてのイベント開催

- ・ 令和3年度の実証実験としてのイベント開催については、5社から具体的な参画意向が示されました。
- ・ また、主催者の確保、協賛企業や出店者の意向、出店者の負担軽減等の条件付きで参画を検討するとの事業者も見受けられました。

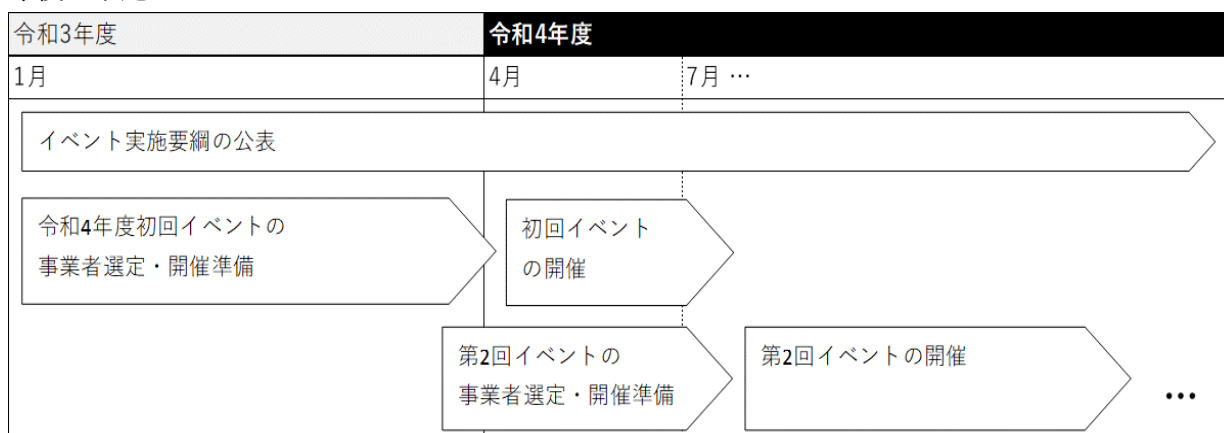
5 対話結果の受け止め

市場と連携したイベントの開催について、マルシェやキッチンカー、BBQ等の「食」のコンテンツと、市場食材を用いたメニューの開発・販売や場内事業者を講師とした体験型イベントの実施等を組み合わせることにより、様々な提案が見受けられました。

当該用地ではこれまでイベント開催実績が無く、インフラ整備、広報・集客等の課題が提示されておりますが、一方で、SDGsにもつながる技術や製品・サービスによる課題解決の可能性についても、有用な情報を御提供いただきました。各種課題について、優先順位を付けた上で、解決のための行政支援も視野に入れながら、市場と連携した賑わい創出の実現に向けて検討を続けていくこととします。

また、「イベント」だけでは集客や効果が限定的であるという見解から、「民間資本による中長期的な土地利用や開発」の提案も複数いただきました。しかしながら現時点では、多様な事業者の参画にも配慮しつつ、京浜臨海部再編整備マスタープランで示した、将来の本格的な土地利用に向けて、まずは「食」のイベントによる市場活性化と賑わい創出の実績を積むことが重要と考えます。

6 今後の予定



※ 令和3年10～12月に予定していた「実証実験としてのイベント開催」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、開催を見合わせることとなりました。

<対話項目毎の御意見・御提案>

※ 複数の事業者から同様の御提案・御意見をいただいた場合は、ひとつにまとめて記載しています。

(1) 『『パートナー事業者』としての参画に関心のある事業者』向け

ア	<p>活用予定用地でのイベント企画</p> <p>(ア) ターゲット（想定する顧客層）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民及び市内外近隣住民</li> <li>・ 観光客及びインバウンド</li> <li>・ 市内住民中心のファミリー層及びミドルエイジ</li> <li>・ 神奈川県及び東京都の一部在住（車1時間圏内）の家族連れ</li> <li>・ 主に近隣県に在住の30代～60代及び家族層</li> <li>・ 横浜市沿岸エリアを中心とし、50代以上のアクティブシニアや30～40代の子育て世代が主要ターゲット</li> <li>・ 羽田空港からのアクセスも良いので、将来的にはインバウンドに対する告知も面白い</li> <li>・ 広域のポップカルチャー好きの若年層</li> <li>・ ポップカルチャー好きの海外ネット視聴者</li> <li>・ 女性を起点にすることで多数の集客が見込める（友人・親子等）のではないか</li> <li>・ 小売、飲食、観光ビジネス関係者等</li> <li>・ 校外学習団体</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(イ) イベントのコンセプト及び具体的なコンテンツ（例：BBQ、マルシェ等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BBQとマルシェとキッチンカーの同時開催イベント</li> <li>・ 横浜市中央卸売市場の魚等を取扱うマルシェとキッチンカーのイベント</li> <li>・ 横浜らしい食材とビールを楽しむBBQ</li> <li>・ 集客コンテンツと抱き合わせたキッチンカーイベント</li> <li>・ 全国各地の人気店を集めたグルメイベント</li> <li>・ 肉をテーマとしたイベント</li> <li>・ SDGsをコンセプトの核として据えたイベント</li> <li>・ 音楽やスポーツと「食」を組み合わせたイベント</li> <li>・ 横浜市内他所で実施していないイベント</li> <li>・ 海辺のアクティビティの活用</li> <li>・ 協賛企業のPRイベント</li> <li>・ 周辺道路環境を活用したスポーツイベント</li> <li>・ 料理教室</li> <li>・ ナイトマーケット</li> <li>・ 地域住民の参加型イベント（地域住民が育てた野菜の持ち込み・調理等）</li> <li>・ 体験型コンテンツを導入し、フードカルチャーを発信する複合施設の設置</li> <li>・ シェアキッチン等を有するフードラボの設立</li> <li>・ 市場活性化のための商業施設（場外市場）の設立</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(ウ) 「市場との連携」の具体的な方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートナー事業者として市場から調達した鮮魚や野菜を販売</li> <li>・ 出店者が市場から調達した鮮魚や野菜を販売</li> </ul>
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・ 出店者が市場から食材を調達し調理・販売
- ・ 市場とコラボしたメニューを開発し調理・販売
- ・ 場内事業者による鮮魚や野菜の販売
- ・ 場内事業者によるおすすめの食べ方の紹介や料理教室の開催
- ・ 市場の特徴を活かした体験型イベントの開催
- ・ 市場内で利用できるクーポンの配布
- ・ 施設の整備と運営（食材調達を含む）による連携

(エ) 希望する開催期間及び頻度

(開催期間)

- ・ 土日のみ又は金土日
- ・ 夏休み期間などは平日開催もあり得る
- ・ ゴールデンウィークやシルバーウィーク、夏休みなどの大型連休
- ・ イベント期間として1か月は必要
- ・ イベント期間として1年は必要
- ・ 市場一般開放と同日
- ・ 市場まつりと同日

(開催頻度)

- ・ 出来る限り長期間開催したい（理想は通年開催）
- ・ 週1回など開催頻度を高める必要がある
- ・ 月1回～2・3か月に1回
- ・ 季節ごとに年4回程度

(オ) 必要なインフラ及び調達方法

(電気)

- ・ イベント用の仮設電源（発電機等）で対応する
- ・ 終日給電可能な太陽光蓄電池を搭載したトレーラーで対応する
- ・ 事業成立のためには行政によるインフラ常設が前提となる
- ・ 仮設インフラでの対応も可能だが、イベント規模により調達方法・コストは異なる
- ・ インフラが無くても開催可能である

(ガス)

- ・ プロパンガスで対応する
- ・ 炭火で対応するため不要
- ・ 炭火での対応が煙等の問題で難しければ、カセットコンロで対応する
- ・ 事業成立のためには行政によるインフラ常設が前提となる
- ・ 仮設インフラでの対応も可能だが、イベント規模により調達方法・コストは異なる
- ・ インフラが無くても開催可能だが、コンテンツは制約される
- ・ インフラが無くても開催可能である

(上水道)

- ・ トレーラーの給水タンクで対応する
- ・ 仮設タンクで対応する
- ・ 散水栓の整備が望ましい

- ・手洗場の常設が望ましい
- ・事業成立のためには行政支援が前提となる
- ・事業成立のためには行政によるインフラ常設が前提となる
- ・仮設インフラでの対応も可能だが、イベント規模により調達方法・コストは異なる
- ・インフラが無くても開催可能である

(下水道)

- ・タンク式キッチンカーの給排水設備で対応する
- ・排水の接続可否について、現地確認及び関係者調整が必要である
- ・グリストラップの使用も考えられる
- ・事業成立のためには行政支援が前提となる
- ・事業成立のためには行政によるインフラ常設が前提となる
- ・仮設インフラでの対応も可能だが、イベント規模により調達方法・コストは異なる
- ・インフラが無くても開催可能である

(トイレ)

- ・仮設トイレで対応する
- ・バイオトイレでの対応を想定する
- ・周辺（横浜市中央卸売市場等）の常設トイレを活用することを前提とする
- ・事業成立のためには行政支援が前提となる

(調理・加工場)

- ・キッチンカーで対応する
- ・保管用冷蔵庫及び加工作業場としてのトレーラーの設置を想定する
- ・市場内の調理室をバックヤードとして利用したい
- ・テントを設置する
- ・出店者が準備した調理器具で対応する
- ・常設の設備があると日常的なイベントに活用可能である

(機材・備品等置き場)

- ・バックヤードとして用地の一部を使用することを想定する
- ・トレーラーの保管場所が必要である
- ・備品置き場の確保は必要である

(駐車場)

- ・用地の一部を駐車場（来場者用、出店者用）として利用することを想定する
- ・市場内の駐車場を利用したい
- ・駐車スペースの確保は必要である
- ・基本的には公共交通利用を推奨するため不要である

(その他)

- ・交通整理や案内人員等の確保が必要である
- ・テントのレンタルが必要である
- ・ステージがあればイベントに活用できる
- ・Wi-Fiがあると良い

(カ) 各種規制（食品衛生法・消防法等）における対応方法

(食品衛生法)

- ・販売業の営業許可を取得したキッチンカーで対応する
- ・魚介類販売業の営業許可をトレーラーにて取得する
- ・調理サービスを提供する場合は、飲食店営業許可も必要である
- ・飲食店の営業許可を取得したキッチンカーで対応する
- ・保健所との協議結果の範囲で対応する
- ・海沿いでのイベントとなるため安全対策の観点から追加対応が必要となる可能性はある
- ・保健所の許可が下りない可能性もあることから、当初想定する企画内容の実現可能性については、保健所との協議結果次第となる
- ・出店者が個別に対応する
- ・地域行事としての対応を想定する

(消防法)

- ・関係機関等との協議が必要だが、許可の取得は可能と想定される
- ・主催者が事前に計画を届け出ること、基準に従い適切に対応する
- ・海沿いでのイベントとなるため安全対策の観点から追加対応が必要となる可能性はある

(その他)

- ・イベント内容や想定来場者数等については、事前に警察に相談する
- ・騒音対策や油煙対策等も検討しておく必要がある
- ・音量制限等イベント開催に関する制限は確認が必要である
- ・岸壁での実施に関する規制があれば対応する

(キ) 立地及び交通アクセスを踏まえた集客方法

- ・車又は公共交通機関によるアクセスを想定する
- ・バスの増便又は臨時シャトルバスの運行の検討が必要である
- ・公共交通機関利用プランも検討できる
- ・場所が分かりづらいため、来場者の誘導方法については検討・協議が必要である
- ・海側からのアクセス（水上交通）が検討できないか
- ・遊漁船乗り場等横浜港及び臨海部をより身近に感じられるような拠点整備が考えられる

(ク) 広報プロモーションの方法

- ・WEBの活用
- ・SNSの活用
- ・テレビ取材の活用
- ・地元メディアとの連携
- ・チラシの製作・設置
- ・学校へのチラシ配布
- ・ポスターの製作・設置
- ・公共交通機関での広告掲載
- ・自社で保有する施設の活用
- ・ロゴの制作が必要である
- ・市場まつりや市場一般開放との連動が効果的である
- ・周辺で稼働するキッチンカー事業者によるイベント告知も考えられる



- ・主催者、パートナー事業者を含めてコストを抑えられる PR 方法の検討が必要である
- ・行政側で実施可能なプロモーションについては協力をお願いしたい

(ケ) 収支見込み (収入／支出は何にどの程度想定されるか)

(収入：売上)

- ・売上として数十万円～数百万円を見込む
- ・売上として1人あたり数千円を見込む
- ・販売金額に対する数十%の歩合収入を見込む
- ・販売金額に対する歩合収入を見込む

(収入：出店料)

- ・出店者あたり数千円～数万円の出店料を見込む
- ・場内事業者の出店ブースからは料金を取らない

(収入：入場料)

- ・収支を安定させるためには入場料を取ることも考えられる
- ・イベント入場料として1人あたり数千円を見込む
- ・BBQ入場料として1人あたり数千円を見込む

(収入：その他)

- ・協賛費を想定する
- ・協賛金として数十万円を想定する
- ・校外学習団体の利用料として数百万円を見込む
- ・電気代を出店者から追加で徴収する場合もある
- ・自治体からの業務受託を想定しており、横浜市の財源的負担が前提である

(支出：土地使用料)

- ・提示金額の支出を想定する
- ・土地使用料は売上歩合での支出を希望する
- ・土地使用料の支出が必要であれば、客単価を高めるために別の施策が必要になる
- ・土地使用料の減免を希望又は想定する

(支出：広告・集客関連)

- ・広告宣伝費として数十万円を見込む
- ・WEB動画制作費として数十万円を見込む
- ・チラシ投函費として数十万円を見込む
- ・ロゴ制作費として数十万円を見込む
- ・印刷費として数十万円を見込む

(支出：会場・設営関連)

- ・会場設営費として数十万円～数百万円を見込む
- ・音響関係費用で数十万円を見込む
- ・都度設営・撤去が必要な場合は追加費用を要する

(支出：運営関連)

- ・当日運営費として数十万円～数百万円を見込む

(支出：その他)

- ・屋内イベントよりもインフラ関連費用が高むことが想定される

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料費として数十万円を想定する</li> <li>・警備費として数十万円を想定する</li> <li>・ごみ処理費用として数十万円を想定する</li> </ul>
イ	<p>課題・行政への要望</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ環境が整っていない</li> <li>・移動・交通面が課題である</li> <li>・食イベントだけでは集客力に課題があり、集客力のあるメインイベントを同時に開催する必要がある</li> <li>・市場食材の調達スキーム（売買主体や食材指定の有無）について、事前調整が必要である</li> <li>・市場事業者と出店者を繋ぐ機会を定期的に設ける必要があるのではないかと</li> <li>・集客に向けた広報が課題である</li> <li>・来場者向けのトイレや駐車場の確保が必要である</li> <li>・一般的なイベント会場と比較すると、交通整理や安全対策が課題である</li> <li>・土地使用料の負担が課題である</li> <li>・資機材等のレンタル費用を安価に抑える必要がある</li> <li>・土日中心のイベントとなるため、用地利用における他イベントの開催日との兼ね合いが気掛かりである</li> <li>・騒音対策や地域住民の理解醸成が必要である</li> <li>・油煙対策が必要である</li> <li>・風が強いため、テント等の設置に際し対策が必要である</li> <li>・行政支援がなければ収支が合わない</li> <li>・赤レンガ倉庫や横浜公園等、近隣での大規模な類似イベントとの差別化が必要である</li> <li>・一般来場者の市場内入場可否の検討が必要である</li> <li>・多種多様な賑わいイベントは事業リスクが高い</li> </ul> <p>(行政への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備は行政側でお願いしたい</li> <li>・給排水に係る支援をお願いしたい</li> <li>・広報活動は行政支援をお願いしたい</li> <li>・地域連携（後援・協力等）や広報については、行政以外にも各種団体、企業等との連携が必要であり、協力をお願いしたい</li> <li>・臨時シャトルバスの運行をお願いしたい</li> <li>・横浜市中央卸売市場内における出店者の駐車場及び控室の提供をお願いしたい</li> <li>・市場との連携について、場内事業者とのマッチングの支援をお願いしたい</li> <li>・市場との連携については、出店条件として明示してほしい</li> <li>・市場イベントとの連携開催をさせてほしい</li> <li>・保健所との調整において行政支援をお願いしたい</li> <li>・横浜市交通安全協会からの人材派遣をお願いしたい</li> <li>・認知度向上のためには継続開催が必要であり、場所代は段階的に引き上げていくことを検討してほしい</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天後の排水（水溜まり）対策を検討してほしい（排水ポンプの常設等が考えられる）</li> <li>・出店者（特に地場企業）の紹介があるとありがたい</li> <li>・協賛金等の支援があるとありがたい</li> <li>・イベントの仕掛けづくりや市場事業者との関係構築等も考えるとすれば、長期の事業期間を確保したい</li> <li>・設備投資を伴うのであれば、内容が簡易であったとしても、長期の事業期間の設定が必要である</li> <li>・市場活性化のためには恒久的な場外市場を整備すべきである</li> </ul>
ウ	<p>実証実験としてのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参画可能である</li> <li>・予定確保のため、2か月前に開催が決まるとありがたい</li> <li>・協賛企業等が集まれば検討可能である</li> <li>・参画は可能だが、出店者に負担が掛からないようにする必要がある</li> <li>・参画意向はあるが、収支見込を精査する必要がある</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に関する営業制限リスクが高く、年度内の実施は見送るべき</li> <li>・実証実験への参画は難しい</li> </ul>

(2) 「運営の間接的な支援・貢献に関心のある事業者」向け

ア	<p>活用予定用地でのイベント運営の支援・貢献内容</p> <p>(ア) イベント運営において想定される課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラが不足している</li> <li>・上下水道インフラが不足している</li> <li>・電気インフラが不足している</li> <li>・トイレの確保が必要である</li> <li>・用地の認知度が低い</li> <li>・用地のアクセス利便性が低い</li> <li>・用地 A、B を一体的に設えることは、安全対策の観点からも難しい</li> <li>・駐車場の確保が必要である</li> <li>・イベントの集客力が不足している</li> <li>・イベントのブランド化が課題である</li> <li>・仕込み場の確保が課題である</li> <li>・市場食材の提供について、魅力的な情報提供や価格優位性等、事業者メリットの提示が必要ではないか</li> <li>・市場側の協力体制の整備が必要ではないか</li> </ul> <p>(イ) (ア)の課題解決のための具体的な支援・貢献内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道について、排水の浄水・循環利用が可能な設備で対応できるのではないか</li> <li>・上下水道について、コンテナを活用すれば上水・排水共にタンクでの対応が可能ではないか</li> <li>・トイレについて、おが屑で排泄物を自然分解できるバイオトイレで対応できるのではないか</li> <li>・電気について、水素自動車で電気供給を行うことが可能である</li> <li>・最新車両やクラシックカーの展示等による賑わい創出が考えられる</li> </ul>
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsをテーマにすると、協賛企業の参画が見込まれるのではないか</li> <li>・シェアサイクルの活用や水上交通によるピストン輸送により、別イベントのサテライト会場としての利用が考えられるのではないか</li> <li>・集客力のあるスポーツイベントのサテライト会場としての活用が考えられるのではないか</li> <li>・パブリックビューイング等、大型イベントの開催の可能性が考えられるのではないか</li> <li>・自社広報によるイベントの情報発信が考えられるのではないか</li> <li>・市場の調理室が活用できれば、食材加工体験等の体験型イベントの検討が可能になり、市場ならではの要素としてPRになるのではないか</li> <li>・高速バスを活用した産地直送型マルシェも考えられるのではないか</li> </ul>
	<p>(ウ) 必要なインフラ及び調達方法</p> <p>※特になし</p>
	<p>(エ) 各種規制（食品衛生法・消防法等）における対応方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水を外部から調達する場合、トレーラーの積載量制限により、十分な量を調達できない可能性もあり、横浜市中心卸売市場から調達できることが望ましい</li> <li>・パブリックビューイング等の大型イベントを開催する場合、騒音対策や警備員の確保も必要である</li> </ul>
	<p>(オ) 事業費の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにおいて自社事業の宣伝・広報の機会を設けることで、支援・貢献策の無償提供が可能である</li> <li>・支援・貢献にかかる費用は個別に調整が必要である</li> </ul>
イ	<p>実証実験としてのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参画可能である</li> </ul>